

**みなとみらい21地区において、外国人向けに、  
災害発生時の避難や情報収集、意思疎通を支援する  
ヘルプカード（4カ国語対応）を作成・配布します！**

東日本大震災以降、防災対策の重要性が高まっていることを踏まえ、みなとみらい21地区では、災害に強い街としてのハード面での強みに加え、エリアマネジメントを推進しているという特徴を活かし、**災害に対してより強靱な『安全・安心な街』の実現**を目指し、防災対策を本格的に推進しています。

その一環として、一般社団法人・横浜みなとみらい21では、外国人来街者が災害発災時にも安心して行動できるよう、**外国人向けヘルプカードを作成・配布**します。

◆ヘルプカードの特徴

- ①カードサイズに折りたたんだもので、日本語、英語、中国語（簡体字）、韓国語の4か国語表記となっています。
- ②発災時の対応方法や情報入手方法といった「役に立つ情報」が記載されているほか、「病院に連れて行ってください」「避難する場所はどこですか」といった質問を指さしだけで伝えられるような機能を盛り込んでいます。また、所持いただく方の氏名や国籍、血液型といった個人の情報を記入するようになっています。
- ③裏面にはみなとみらい21地区の地図を掲載するとともに、公共トイレや津波警報伝達システム、災害用地下給水タンクの場所などがわかるようになっています。
- ④発災時のみならず、普段の生活でも活用できるようになっています。

◆配布場所

- ・パシフィコ横浜、JICA横浜
- ・地区内各ホテルフロント
- ・地区内主要商業施設インフォメーション 等



